

令和2年度 リハビリテーション訪問相談のアンケート結果について

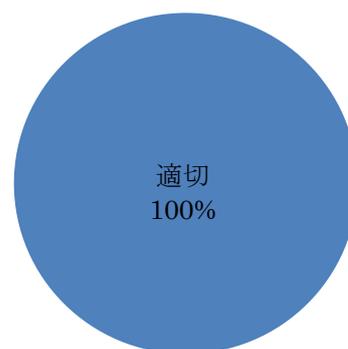
(回答は5施設中4施設、10ケース中9ケース、回答率90%)

令和2年度は、5施設への訪問相談を実施しました。このアンケートは、助言・指導内容をまとめた指導記録とともにアンケートを送付し、回答を依頼したものです。

訪問してから概ね3か月までの状況を、助言内容の取り組み状況や成果についてご回答いただきました。アンケート結果を参考に、次年度以降は、より良い助言・指導ができるように努めます。

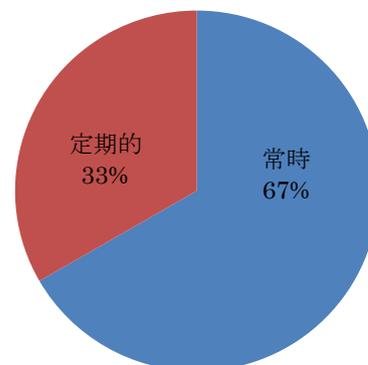
設問1. 助言の難易度は適切でしたか。

| 難易度 | ケース |
|-------|-----|
| 適切だった | 9 |
| 困難だった | 0 |
| 容易だった | 0 |
| 合計 | 9 |



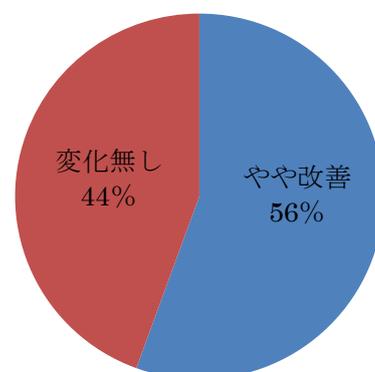
設問2. 助言を受けた内容についての取り組みの頻度はどうですか。

| 頻度 | ケース |
|-------------|-----|
| 常に取り組んでいる | 6 |
| 定期的に取り組んでいる | 3 |
| 取り組んでいない | 0 |
| 合計 | 9 |



設問3. 助言を受けた内容に取り組むことで効果が見られましたか。

| 成果 | ケース | |
|--------|-----|---|
| 改善した | 0 | |
| やや改善した | 5 | 腰椎の変形により頭部が前屈して顔の表情が見えなかったが、毎日座位の訓練を行うことで、今では頭部を保持し表情が見えるようになった。 |
| | | 本人の姿勢を整えたり、本人とのタイミングを合わせるように意識したことで、移乗がスムーズに行えるようになった。 |
| 変化無し | 4 | リハビリの方法が分からず苦慮していたが、助言されたことでリハビリが行えている。ただ、リハビリは本人の意欲も重要なので、身体機能の改善は見られていない。 |
| | | リハビリの助言をしてもらったが、本人の施設利用回数が少ないため効果が現れていない。 |
| 合計 | 9 | |



設問4. 本事業について要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ・事業はとても参考になっている。次年度も事業を継続してほしい。
- ・助言を受けた移乗をしやすくなる福祉用具（クッション及びトランスファーボード）の購入を検討している。